

ACL Server Edition は、企業サーバーの処理能力を利用して、パワフルで安全なデータアクセスを可能にします。ユーザーは、まるで自分のデスクトップにあるかのように直接アクセスして、簡単に分析することを可能にします。時間の節約や、生産性を向上するために企業サーバーの処理能力を活用しましょう。

ACL Server Edition の利用により、ユーザーは ACL Desktop の Windows ベースインターフェイスと同じ視点で企業データを見ることができます。自信をもって100パーセントのデータを調査し、異なるシステム間のデータを比較、照合することにより、組織にとって重要な業務処理データを即座に洞察することができます。

ACL Server Edition は、以下によりユーザーの作業時間を節約しパフォーマンスを向上させます。

- パワフルな企業サーバーの処理能力を利用
- データの重複を排除しデータの安全性を維持
- 混雑した LAN や WAN を介して大容量データを転送する必要性を削減
- 例外や特異データの調査を簡素化
- 手間のかかるデータ抽出をすることなく、データへ即時アクセスが可能

ACL Server の特徴

サーバー上に存在する ACL Server Edition は Windows ベースのクライアントである ACL Desktop とシームレスに統合されているため、ユーザーはサーバーベースのデータに安全、透過的、かつリアルタイムにアクセスすることができます。ユーザーはサーバーの処理能力、セキュリティ、信頼性を利用してサーバー上のデータを直接処理することができます。この構造により、データをコピーしたり変換したりすることなく、透過的にリアルタイムにアクセスして分析することができます。

ACL のクライアント/サーバー構造を通して、ユーザーは本来サーバープラットフォームオペレーションの持つ以下のような特性と利点を利用することができます。

- 耐障害性および負荷分散の設定
- 自動バックアップと回復
- UPS(無停電電力装置) サポート
- 強化されたセキュリティと管理能力

ACL Server の機能

■ システムセキュリティ

ACL Server Edition は、読取り専用でデータにアクセスするため、元のデータを変更したり削除したりすることは決してありません。データアクセス時に使用する ACL のプロファイルは既存のオペレーティングシステムのセキュリティ基準とパスワード保護に従います。このため、データの完全性とシステムセキュリティが侵害されることはありません。

■ クロスプラットフォームのデータ分析

ACL Server Edition は、分析をするためにデータをネットワーク経由で移動したり、PC にコピーしたりする必要はありません。クライアントの ACL Desktop を使用して、どこで分析を行うのかを決定します。ユーザーはサーバーにある最新のデータをネイティブ形式で分析したり、引き続き分析や他のデータ源との比較のために特定のデータ群を抽出したりすることができます。ユーザーは確定されたユーザプロファイルに基づく異なるサーバに、全て同じ直感的なユーザーインターフェイスを使用して、接続することができます。データが PC 上にあるかメインフレームサーバー上にあるかに関係なく、同じクライアントインターフェイスは、ひとつの視点と新しい洞察を企業にもたらします。

■ データベースへの直接アクセスインターフェイス

ACL Server Edition は、データの完全性やアクセス権限をそのまま維持しつつ、様々なデータベースを直接、安全に読取り専用でアクセスします。便利なデータ定義ウィザードを使用して分析に必要なデータベーステーブル、フィールド、レコードを選択することができます。ACLはユーザが定義したデータビューを自動的に作成します。ユーザーは必要なデータにのみアクセスするために、条件、“Where”や“Order”句を使用することができます。SQL 句はユーザーが指定した条件に基づき、最も効率的な方法でテーブルを結合します。

■ 適応データベース

ACL Server Edition は、次のデータベースに適応。

- ・DB2
- ・ORACLE
- ・SQL SERVER

■ 柔軟性のあるデータ操作

ACL は、ファイルの種類やデータ源にかかわらず全てのデータを読みこみ比較します。

ACL Server Edition は、下記のような様々なファイル構造とデータ型に直接アクセスします。

- ・固定長および可変長ファイル
- ・単一レコードタイプ、複数レコードタイプおよびセグメントデータ
- ・ASCII、数値、PC FLOAT および MICRO など他のプラットフォームで生成された、一般的なデータ型
- ・ビットレベルのフィールド
- ・UNICODE および非 UNICODE データ



● システム要件

ACL Server Edition for Windows Server 2003

- ・Microsoft Windows Server 2003 Release 1 (SP1) または Release 2
- ・インテル互換プロセッサ
- ・128MB の RAM 容量
- ・15MB のディスク容量
- ・データベースの抽出とフラットファイル用の十分なディスク容量
- ・ACL クライアントソフトウェアへの TCP/IP 接続
- ・Oracle Database Version 9i (9.2.0.1), Version 10g Release 1 (10.2.0.1) または Version 10g Release 2 (10.2.0.1) を使用する Oracle インターフェイス(任意)
- ・DB2 Database Version 8.1 または 8.2 を使用する DB2 インターフェイス(任意)
- ・SQL Server 2000 (SP3a または SP4) または SQL Server 2005 を使用する SQL Server インターフェイス(任意)

ACL クライアント

- ・ACL Desktop または Network Edition (Version 9.0以降)が動作している1台以上の PC
- ・Windows PC と ACL サーバーをリンクするための TCP/IP ネットワーク接続
- ・Pentium クラスのプロセッサを搭載した PC (Windows 2000 (SP2)、Windows XP (SP2))
- ・32 MB 以上の RAM
- ・ACL プログラムと関連ファイルを保存するため 26 MB 以上のハードディスク空き容量
- ・Internet Explorer 6.0 以降

■ 製品について

ACL の各 Edition については、お気軽にお尋ねください。

株式会社エージーテック 営業部 ACL 担当
 電話番号: 03-3293-5283
 メールアドレス: sales@agtech.co.jp
 お問合せ受付時間: 月曜日-金曜日 10:00-12:00 / 13:00-17:00
 (土曜、日曜、祝日、年末年始休み)

